

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 31 年 4 月 1 日改正
(平成 31 年 4 月 1 日適用)

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

② 施設・事業所情報

名称：ほほえみ訪問介護事業所	種別：訪問介護
代表者氏名：高井昭裕	定員（利用人数）： 46 名
所在地：岐阜県関市稲口845番地	
TEL：0575-24-9570	ホ　　ム　　ペ　　ー　　ジ　　： https://www.hohoemi.or.jp/hohoemi/kaigo.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成12年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 桜友会	
職員数	常勤職員： 4 名 非常勤職員 6 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	管理者兼介護職員 1 名 介護職員 4 名
	提供責任者兼介護職員 1 名 事務員 1 名
	介護職員 2 名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）

③ 理念・基本方針（※転載）

法人理念

1. 利用者一人ひとりを大切にし、支援を通して利用者も家族も豊かな生活を送る事を
目指します。
2. 地域の一員として地域の思いを受け止め、安心して生活できる地域社会の実現を
目指します。

基本方針

1. 地域で一番信頼されるサービスの提供
2. 生涯働ける職場づくり
3. 進歩し続ける事業所づくり

④ 施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

--

- ・職員間のチームワークを大切に、助け合い連携できる体制がある。職員も定着しており、8割が5年以上の経験を積むヘルパーである。チームケアによる質の向上が図られている。
- ・職員の資質向上にも力を入れており、個別に研修計画を立て、経験年数に応じたスキルが身につくよう取り組んでいる。積極的な意見が出る職場であり、職員のチームワークで事業所が成り立っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 1 年 6 月 2 5 日（契約日） ～ 令和 2 年 3 月 3 1 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	初 回（平成 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

<利用者とのコミュニケーションを図るため、日々努力している。>

コミュニケーションの重要性を認識し、個々のニーズに合わせ、手話サークルを立ち上げたり、点字学習に取り組んだり、接遇研修を毎年開く等、様々な利用者とのコミュニケーションを図るよう積極的に取り組んでおり、利用者との信頼関係を築いている。

<権利擁護、虐待防止の意識が高い。>

権利擁護、虐待防止の意識を高く持ち、不適切ケアの早期発見、適正化について取り組んでいる。毎月、職員は自己チェックによる振り返りやネグレクト着眼点などのチェックリストを用い、日頃のサービスについて確認している。

<利用者の生活スタイルに合わせるとともに、自立に向けた支援に努めている。>

サービス導入前に事前面接を行い、ADLだけでなく、IADLや利用者・家族の意向についても情報収集し、生活全般に渡るアセスメントを実施し、本人や家族の意向を踏まえて訪問介護計画を作成している。利用者のエンパワメントを高める観点から、残存能力の維持に努める等、利用者の自立支援に向けた取り組みを行っている。また、全体マニュアル、個別マニュアルや各種の手順書を整備し、エビデンスに基づいた訪問支援を実践できるようサービスの標準化を図っている。

◇改善を求められる点

<事業計画を公開する等、広く広報に向けた取り組みに期待したい。>

利用者への周知について、利用者・家族がステークホルダーの重要な一員であることを考えれば、事業計画の要旨について、わかりやすい資料を作成し、説明する等、さらなる周知に向けた取り組みに期待したい。併せて、ホームページでも事業計画を公開する等、広く地域に向けた広報への取り組みにも期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通し、訪問介護の運営を見直す良い機会となりました。ご利用者・ご家族と日々の介護の中で交流する事はありますが、事業所運営の情報公開まではできておらず、指摘された通り改善が必要と感じております。

「訪問介護広報」等、独自の広報誌の作成など検討していきたいと考えております。今回指摘された事を、改善し良い事業所を目指し取り組んでいきたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

